

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和7年2月7日（金） 午前10時から12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 河原 将子, 村山 朝子, 安嶋 隆, 小坪 のり子, 添田 仁, 玉川 里子, 塚原 正彦, 藤 和博, 藤本 陽子, マーサー 川又
 - (2) 執行機関 小川 邦明, 関口 慶久, 鈴木 雅人, 鎌田 洸一, 小野瀬 永子, 藤井 達也, 平野 明彦
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ① 企画展「夏休み子どもミュージアム そらとぶいきもの大集合！」の結果について（公開）
 - ② 特別展「常陸山谷右衛門 ―「角聖」の生きた時代―」の結果について（公開）
 - ③ 令和6年度博物館事業の実施結果について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ① 特別展「人形百花譜 ～雛人形を中心とした節句人形たち～」の開催について（公開）
 - ② 特別公開「「戦国武将書簡集」の世界」の開催について（公開）
 - ③ 令和7年度博物館の主な事業計画（案）について（公開）
 - (3) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和6年度第2回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
(開会のあいさつ)
【委員長】
早速議事に入りたいと思います。報告事項の(1)と(2)について、事務局から説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

以上の報告について、何か質問ございますか。

【____委員】

歴史部門の学芸員による講演が非常に好評ですね。ぜひ今後とも様々な講師活動に一丸となって取り組んでいただきたいと思います。

一人でも多くの人に、見るだけの博物館ではなくて、オーバーザカウンターというか自ら率先して水戸の史実を伝えていってほしいです。

【____委員】

特別展「常陸山谷右衛門」の時に感じましたが、唯一図録に載っていない資料として常陸山の書が展示されていたんです。これは展覧会を通じて調査を続けていた結果、発掘された資料なんですね。博物館法が改正されて、博物館も観光地化の流れがありますが、水戸市の博物館は市民に寄り添って継続的に調査をしていて、その結果新しい資料が出てきたので一緒に展示してみましたっていうのは、すごく大事なことだと思います。学芸員の情熱が感じられますね。

【____委員】

常陸山谷右衛門の展示は、常陸山を取り上げているんだけど、相撲とは何かということで入り込んでいくのではなくて、むしろ地域とのつながりであるとか、地域との関わりの中で常陸山が成しえたことに重点を置いて展示がなされていたので、彼を通して地域の持っている歴史の深さであるとか、常陸山の功績として世界とのつながりにまで目を向けられたと思います。

こうした展示は、丹念に資料を調査している成果だと思いますが、一方で、調査費用・時間は十分にあるのかと心配にもなりました。今後は、資料調査に係る費用や資料の購入費なども含めてバックアップしていただければよいと思います。

今後は徳川光圀生誕 400 年の節目の年を迎えますが、光圀ということになれば国内だけでは留まらない話になりますので、そういったことも見越して予算を付けていただければと思います。

【____委員】

植物観察会の資料を見せていただいたのですが、野外で見やすいよう A 5 サイズの冊子になっていて、内容も分かりやすく丁度良いので毎回参考にしています。ほかと比べて一歩抜きん出ている質の高い観察会だと思います。

【____委員】

夏休み子どもミュージアムについて、VR ハンググライダーのような体験型が展示の中に含まれていると、他のものにも目が向くようになるし、みんなに展覧会に来てもらう上で非常に良い試みだと思います。

常陸山谷右衛門について、以前にも展示の一部で常陸山を取り上げた経緯がありますが、そこから非常にたくさん資料が加わっていて、良い展覧会でした。

【___委員】

アンケートの中に二所ノ関親方のトークショーの話が書かれていますが、こちらではコラボというか、参加した小学生に向けた常陸山谷右衛門の展覧会への誘導というのは行ったのでしょうか。

【執行機関】

城東小学校において開催した常陸山生誕 150 周年記念事業「常陸山について学ぼう」において、二所ノ関親方にもお出でいただき、お話を頂戴しました。参加いただいた皆様には展覧会の紹介や呼び込み等を行ったところでございます。しかしながら、参加した児童の呼び込みまで結びつけていたかどうかは確認できていません。

【___委員】

___委員がおっしゃるように、子ども向けの取組があれば、呼び込みに繋がったということもあるかと思います。

【___委員】

展覧会の案内やチラシ配布はどこまで行っていますか。例えば県内の全小中学校に配布しているとか、そういったことはしていますか。

【執行機関】

県内全小中学校まではいっていませんが、市内の小中学校、義務教育学校、幼稚園の全児童・生徒へは配布しております。また、市内の高校にも案内をさせていただいていて、毎年少しずつ拡充を図っている状況です。

【___委員】

常陸山谷右衛門の展覧会は、高校の歴史総合の導入のところで見てくれたら、すごい教材だなと思いました。県であれば、社会や理科の研究部会がありますので、そういうところにもアピールをすれば、研修会等でも派遣依頼が来て講演をしていただけるとのかなと思いました。

【___委員】

常陸山谷右衛門の展覧会入場者のところで、障害者の入館者数が多いのが気になりました。どういうタイプの障害をお持ちの方がいらっしゃったのですか。

【執行機関】

障害者の入館者数が多くなった要因として、施設から団体でお越しいただいたことが挙げられます。どういった障害なのかは確認していませんが、知的障害を抱える方を受け入れている施設が多い印象を受けました。

【___委員】

これだけ障害者の方の入館が多いと、今回の常陸山の展示であれば書簡の展示が多かったのですが、例えば視覚障害者の方に向けた取組を行ってはどうかと思います。

【委員長】

続いて協議事項(2)について事務局より説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

ただいまの説明について、何か質問や意見などありますでしょうか。

【____委員】

協議事項3の事業計画のところで、先ほども高校の学びとの連携の話が出ましたが、小中学校は載っているのに、高校はなぜ記載されていないのでしょうか。

【執行機関】

記載していない理由は特にございませんが、例年に引き続き高校との連携は実施し、毎年少しずつ充実させていくようにしております。

【____委員】

近世日本の教育遺産群について、文化観光推進法の拠点施設として水戸市立博物館が名乗りを上げてはどうでしょうか。博物館を拠点施設として文化庁から様々な予算を引き出したり、サポートを受ける環境があります。近世日本の教育遺産群をきっかけにすれば、実は水戸のすべての資源を日本遺産にすることができますので、さらに博物館でやられている様々な活動をもっと広げて予算化を図ることができるのではないのでしょうか。

【執行機関】

日本遺産につきましては、水戸では歴史文化財課の中に世界遺産推進室がございまして、そこで世界遺産登録及び日本遺産推進の取組を行っております。今後、博物館も協力しながら、日本遺産の取組を推進してまいります。

これまで博物館では、4部門による総合博物館として資料収集や展示等を行ってまいりました。そこに日本遺産をどう加えるかということは、博物館のあり方にも関わってまいりますので、協議会の皆様も含めて考えていかなければいけない部分だと考えております。博物館は日本遺産の拠点だと言い切ってしまうといいのか、はたまたそれをどう融合していくのが博物館として良いのか、その辺は整理させていただければと考えております。

【____委員】

水戸市立博物館条例第2条では、市民の教育・学術及び文化の発展に寄与するとありますから、県の歴史館とは違って小中学校までが範囲なのかなと思いました。高校になると県立になりますし、

市外の学校まで対象とすると考えていいのか、市内の小中学校を中心として考えているのか。

【執行機関】

条例的にも市立の博物館ですので、当然、市内が中心にはなるかと思います。例えば、市内には高校がたくさんあって、市外から水戸市に通っている高校生もたくさんいますので、現状では市外にも講師派遣や広報等を行っております。

【委員長】

続いてその他について事務局より説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

ただいまの説明について、何か質問や意見などありますでしょうか。

【___委員】

いち市民として、この建物の利便性はどう考えても機能的でなく、市民の感情を満たしているとは思えない作りになっていると感じます。わざわざ健全性を確保しながら80年ということではなくて、当たり前だけれども、建て替えとか、移転といったベクトルをもっていった提案していくというのも、市民の皆さんほとんど同意していただけると思います。

【___委員】

前に市長に要望書を出したときにも建て替えをお願いする方向性だったと思いますが、今の説明ではここで我慢しながら頑張っていくという内容です。もう少し発展的な対応を検討してもらいたいです。今後を考えるという意味では博物館としてちゃんとしたものを作りましょうという方向性で持って行った方が良いのではないのでしょうか。

【___委員】

先ほども申し上げたとおり、文化観光推進法の拠点施設として、水戸の文化のまちづくりの拠点として、日本遺産や世界遺産を含めて、新しい博物館が必要だと名乗りを上げるべきだと、そういう検討をしてはどうかと博物館から声をあげてほしいという話なんです。

【___委員】

本物の資料を見ていただく環境がどういうものかというのを、考えられていない課題への対応だと感じます。

例えば、自然科学分野でいえば、県立の施設は県央からも離れていて不便であることから、水戸市立博物館において自然部門を扱うことはこの建物の大きな利点になるはずです。ただ、この現状を見ると、美術を見ようとして来たのに、鳥の剥製を見た意識で美術の展示室に入るということで、空間がめっちゃめっちゃな動線になっているんですね。

学芸員の講座として、歴史講座だけが何件も挙げられていますが、どういう依頼の受け方をして
いるんだろうかと思ってしまいます。先方の御指名があつて偏っているのか。4部門あるのであれ
ば、講座は4部門で均等化をするべきです。そして人的な育成にもうちちょっと目を向けてほしい。

【____委員】

小さい博物館ですけど、各部門に学芸員が1人しかいないのはやはり大変ですね。館外に出
て行けば館内の仕事は後回しになってしまいますからね。もっと基本的なところから考えて対応策
を講じた方が良いと思います。

【____委員】

どうしても基本的な考え方で、まだ使える、まだ使えるという繰り返しの考え方になってしまう
のだと思います。図書館との複合施設というのも当時は斬新でしたが、今はそうではないのではな
いでしょうか。最大80年間建物を使用していくという計画ですが、そんなに悠長に考える話でな
いと思います。協議会としても考えていきたいと思います。

【____委員】

今の博物館が抱える課題と対応について、前回の宿題を踏まえてまとめてくださったのだと思
います。確かに課題はよく整理されていますが、じゃあどうするのかというところが、あまりに耐
え忍びますというイメージで、具体的に例えば収蔵庫の中をどうするのか、ただの整理整頓ではもう
追いつかないと思うんですね。施設の問題もありますし、____委員からのお話にもあったとおり
人的な問題もあると思います。やはり協議会としては受け入れるのは難しいかなと率直に思
います。もっと博物館のあるべき姿に向けて一歩踏み出した提言をしたいなというふうに感じ
ました。

【委員長】

その他にご意見はありませんか。それでは、これで会議を終わりたいと思います。

【執行機関】

皆様、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、令和6年度第2回水戸市立博物
館協議会を閉会といたします。